

浦戸湾の自然誌

第49号

Wildlife in Urado Estuary

No. 49

フグ科 クサフグ

Takifugu niphobles



2004年4月7日夜ヶ島周辺で採集されたクサフグ。

クサフグは標準体長11cmほどの小型の種で、内湾や河口の近くでもっとも普通に見られるフグの仲間です。ペンチのような歯で釣り糸を切るは針を折るはで、典型的な嫌われ者です。胸鰭の後方に大きな黒い斑紋がありますが、この斑紋に白い縁どりが無いこと、背鰭の軟条数が12~14本であることが大きな特徴です。また、青緑の地色に白い斑紋があるのも特徴です。フグは、日本の漢字では河豚または鰻ですが、中国と台湾では河魨です。「屯」は「たむろする」の「たむろ」です。クサフグは初夏の満潮時、浅瀬で大群をなして産卵します。水面が波立ち、一斉に放出される精子で海水が白濁するほどです。この産卵行動は1時間ほど続きます。卵は小石